

# 21世紀水倶楽部だより

発行：特定非営利活動法人 21世紀水倶楽部  
発行者：亀田 泰武  
編集：特定非営利活動法人 21世紀水倶楽部 広報担当  
〒171-0011 東京都豊島区目白 2-1-1  
URL <http://www.21water.jp/>  
E-mail [info1@21water.jp](mailto:info1@21water.jp)

第 19 号 2011 年 9 月 30 日号

## 曲がり角

理事・事務局長 田野嘉男

人は成長していく過程の中で各種の岐路に遭遇する。小さな岐路もあれば大きな岐路もある。小さな岐路では右に曲がろうが、左に曲がろうが、多少の紆余曲折があっても、再び合流し何もなかったように成長していくことが出来る。しかし、大きな岐路においては、その選択の結果において、その成長は取り戻しの出来ない大きな方向のズレが生じる。もちろん、自分で選択できない岐路もある。例えば、親の指示、会社の命令等によって、余儀なく曲がる方向を決められることもある。



私の大きな岐路を振り返ってみると、大学受験に際しての大学及び専攻学科の選択、卒業時の就職先の選択、適齢期における伴侶の選択等であろう。これらの岐路において私が別の選択をしていれば、今、私は全くこの世界と異なる場所におり、水倶楽部理事としてこの文を書く立場にいなかったであろう。私の大学の友人に、余りにも難しい岐路を選択したのか、心の病を患い、現在、消息不明になっている人すらいる。

日本の岐路について振り返れば、内戦の恐れすらあった幕末時の混乱収束への選択、米国との開戦の選択、日米安全保障条約締結への選択、自民党から民主党への政権交代の選択等数多くの岐路があった。選択の良し悪しはともかく、その結果を踏まえて現在の日本の姿がある。

広く世界を見ると、どこでどう間違ったのか、いまだに国内で内戦をしている国が多くある。間違った選択の修復には長い時間を要する。その国民は不幸である。

この度の東日本大震災において、日本はまたしても大きな岐路に立たされ、試されている。賢明で寛容で忍耐力のある国民がいる日本では必ず復興すると、私は信じている。だが、選択の結果によっては、その修復に長い時間を要するの事実である。

21世紀水倶楽部も2003年の設立から8年を経過し、今年から3代目の亀田理事長が就任した。「売り家と唐様で書く3代目」とならぬよう、当法人の運営に参画する私も、岐路において最適な選択ができるよう、日頃からアンテナを高く張りたいと思っている。

## 2011年度活動報告

### 「不明水問題を考える」下水道管路シンポジウム報告

山崎義広

平成23年9月9日、「不明水問題を考える」下水道管路シンポジウムが開催された。

不明水問題は下水道事業にとって古くて新しい問題です。下水道管路施設のストックは下水道事業の総投資額の70%程度と莫大であり、今後、建設からアセットマネジメントの時代に入り、下水道経営の視点からも不明水対策は避けて通れない課題になる。

そこで当会では、最新の調査方法、解析方法および対策等の具体例を交えて専門家による講演をいただき、参加者57名を交えての全体討議で不明水問題解決のための課題などを議論した。

最初に、神戸市建設局の尾園克憲氏より神戸市での不明水対策の取組みが紹介された。特に、「排水設備無料点検、改善工事助成制度」を制定し、施行していることの説明は参加者の耳目を釘付けにした。そして、汚水管の老朽化進行で、不明水量は増えているが、管更生工事の実施により抑制していることが数字で示された。「新技術更生管用取り付管」を採用

理事・事務局長 田野嘉男

し効果を上げている事例なども紹介された。

次に、ペンタフ㈱の後藤清氏より。不明水対策への疑問と現場からの回答、不明水が減らない原因、長寿命化と不明水対策の関係、不明水を削減するための方策などについて。不



明水減は本当にできるかの問いに対して技術的な 3 つのポイント、①誤接合と水密性の改善、②部位ごとの削減比率の確認、③対策後の地下水位上昇の想定が重要。対策には、下水道管路長寿命化事業の中で国庫補助の活用が必要だと力説。

3 番目に、日本上下水道設計㈱の中山義一氏より。不明水削減対策手法、不明水対策のポイント、そしてそれには「継続的な検証・評価」が大切だということと「評価の視点」と「実施スキーム」の必要性について提案。

その後の全体討議では、最初に、参加者より、「新技術 水質測定による不明水調査方法」についての発表があった。

全体討議の中では、合流式での対策例の紹介、流域下水道関連市において不明水問題意識が希薄であること、下水道料金は水道料金より安いという考えの切り崩しかた、不明水量の処理費の膨大さなどに鑑みても不明水対策は、アセットマネジメントの一丁目一番地だ、などの議論があった。

さらに、不明水の犯人は、排水設備で 50% を占めることから、市民とのかかわり、認識や理解を深めて取り組む必要があることなどが、今回のシンポジウムを通して見えてきた気がします。

講演概要や総合討議の内容はHPにて参照できます。

特定非営利活動法人 21 世紀水倶楽部は、平成 23 年 6 月 24 日（財）下水道新技術推進機構の会議室において、標記の総会を開催しました。

出席者（委任状提出を含む）は開会時 59 名で、正会員総数 81 名の半数以上でした。開会后、十数名の参加者がありました。

審議事項は以下の通りです。

1. 平成 22 年度事業報告、会計収支報告、監査報告
2. 平成 23 年度事業計画、収支予算
3. 理事選任
4. 報告（細則、顧問推薦、名誉会員推薦）

会議の冒頭、安藤理事長は挨拶で、米国同時多発テロと東日本大震災に触れ、多様な価値観が存在する中で、我々は災害にも向き合っていかなければならない困難性を指摘し、新しい執行部でのリーダーシップを期待すると述べられました。

続いて議事に入り 22 年度事業において、研究集会及びシンポジウムの 6 回の開催、出前講座の 5 回の開催等が報告された。23 年度事業では、研究開発・普及啓発事業として東日本大震災、不明水対策、ディスプレイ普及、下水道展クイズラリー等が計画されている旨、報告され、いずれも全会一致で承認されました。理事選任では、安藤・坂本・深堀・中川の 4 理事と奥井監事の退任が承認され、新たに佐藤・渡部・土屋・田野の 4 理事と河井監事の就任が承認されました。なお、理事会で互選の結果、新理事長に亀田理事が選任されました。



亀田理事長は「当 NPO は市民や小中学生を対象に、水に関

しての知識・その重要性を啓蒙・啓発していくことを目的としているが、当初の原点に立ち返って全員で進めていきたい」との抱負を語った。盛会のうち総会を終えることができました。

なお、当倶楽部の活動記録・総会資料はホームページにアップロードされています。

## 新役員自己紹介

### 土屋理事

千葉市下水道局を退任後、(財)千葉市動物公園協会に2年間在職し、現在は千葉市権名公民館の嘱託館長を務めています。

協会・公民館の両職場において、市の中心部を流れるドブ川と化していた河川が、下水道の完備に伴い、今では絶滅が危惧されていた多種多様な水生生物がよみがえっている現状を市民に広く知っていただくため、規模の大小はありますが、それらの水生生物を展示する「水族館」を手づくりで設置し、子供から大人まで多くの方々に「勉強の場」「憩いの場」として親しんでいただいております。

地域活動として、地元のNPO法人「都川の環境を考える会」にも属しておりますが、「21世紀水倶楽部」での活動で得た大局的見地から水辺活動等を地域へ、また、地域活動を通して得たものを微力ながら「21世紀水倶楽部」で活用できればと考えております。



## 会員だより

**ロサンゼルス見聞録その8** アメリカのインターステートハイウェイ (IS: 国道)

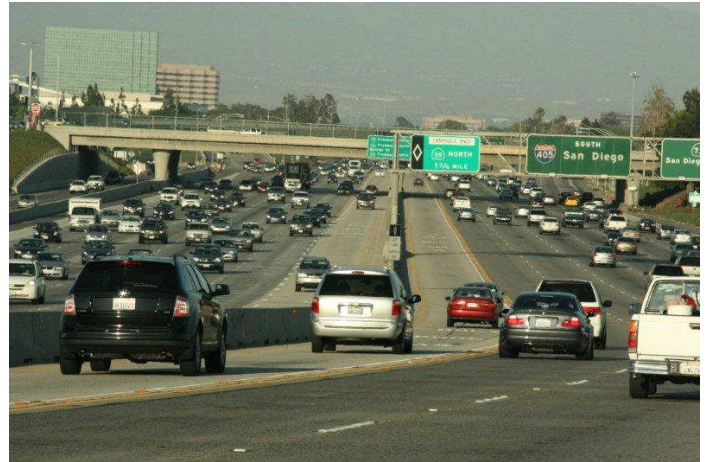
内田信一郎

ISは東西方向に伸びる高速道路は偶数番号が、南北に走るものは奇数番号がついていて、通常は片側5～6車線もあってアメリカ経済の屋台骨である。アメリカ土木学会等が世界の「20世紀の10大土木事業」として道路部門で選んだのがこのインターステートハイウェイである。参考までに、

他の9部門ではパナマ運河、関西国際空港、ユーロトンネル、フーバーダム、ゴールデンゲートブリッジ、エンパイアステートビル、シカゴ下水道システム、カリフォルニア上水システム(廃棄物処理部門は該当なし)である。

西海岸から東海岸へ南北方向には5号、15号、25号と通じていて、5号は北のシアトルからカリフォルニア州の州都サクラメント、ロサンゼルスを経てメキシコ国境のサンディエゴ迄走っている大動脈である。東西方向には南から北へ10号、20号、40号、80号等があり、10号はロサンゼルスからサンアントニオ、ヒューストン経由でフロリダ半島まで走っている等、アメリカ合衆国の物資輸送の大動脈である。鉄道の整備が充分でないため、これらがなければ安定した経済は維持できない。上記のようにロサンゼルスが高速道路番号の基点になっているように思える。

昔映画で有名になったルート(国道)66号は、子供のアニメ「カーズ」にも登場し、主にルート40号沿いを走っている。そのルートはシカゴを出発し、セントルイス、オクラホマシティ、アマリロ、アルバカーキー、フラッグスタッフ、バスターを経てロサンゼルスに到着する。



ロサンゼルス地域を詳細に見ると国道として5号、10号、15号、40号、105号、110号、210号、405号、605号、710号が縦横に走っていて、活発な経済を支えている。名前どおり、料金が無料なのが嬉しいが、そのため、朝夕のラッシュ時には混雑がひどくなってきており、ロサンゼルス国際空港から帰国する場合など時間帯によっては充分時間を見込んでおく必要がある。

## 酔童感話 第12話その1

伊達 萩丸

年末に「今年の一文字」と言う題目で、京都清水寺の高僧が大きく字を書かれるが、萩丸が予想するには、「災」か「禍」、それとも「水」であろうか？

世間一般の目は、「東京電力福島第一原発の事故」に注目していると思うが、その事故の発端も「水の禍」である。現在は「汚染水」だろう。ただ、ここでは、萩丸は少し違う事を書きたい(´\_`)

3月11日東日本大震災が発生。萩丸の本拠地宮城県は最大の犠牲者を出した。まさか仙台空港で旅客機が水の中を泳ぐ光景を見ろとは思わなかった。仙台近辺では仙台港で球形ガスタンクが爆発した程度で、地震による火災より、津波の



被害の方が、格段に大きかった。日本地図を見て欲しい。宮城県は牡鹿半島より南側は綺麗に大きな円弧を描いたカーブだ。同じカーブが外房九十九里浜。千葉県の最大標高は、200m位か。仙台市は、青葉城址の政宗公の銅像がある部分が大体 200m位。仙台城は山城。政宗公から、石垣だけで標高が160m近く下がり、大手門先の大橋の下を流れる広瀬川はそこから下流となる。青葉城址から太平洋+水平線・松島が見えている。従い、仙台市民

の夏の行楽は、市内の「荒浜海水浴場」の海岸で海水浴が「ふ・つ・う」だ。東京都民の海水浴は、外房、湘南だが、海水浴で仙台に来る事はまずありえない。その白砂青松の海岸に高さ15m以上の津波が襲来。「仙台東道路」と言う高さ5~6m土盛りの疑似堤防？が無ければ、仙台駅まで津波が来ただろう。仙台東部道路近辺から海側は田園地帯、宮城米の本場だ。農村集落が数多くある。もちろん広瀬川合流後の名取川河口には閉上（ゆりあげ）漁港がある。それが全部地上から

消えた。「津波だ、高いところに避難しろ！！」と言われても、自分の家の2階が周辺で一番高い。その2階より高い津波が来たからどうしようもない。とにかく、宮城県だけで2万人以上の犠牲者を出し、半数近くが行方不明だ。だがもう、海の中まで捜索しようがないし、ガレキの砂浜の海岸の沖には引き波で流された家や車がそのまま沈んでいる。これでは、さすがに地元の人にはめげちゃう。自分の身よりではなくても、これほど一度に多数の方が亡くなるとさすがに出る言葉も無い。震災後の被災地の写真集は書店等に出回ったが、震災前の町並みは地元の人しか知らないし写真もほとんど無い。だから震災前後がとても同じ場所と思えない。(to+)

⇒つづく

### お知らせ

- 10月11日(火)にディスプレイ研究集会が開催されます。テーマは「下水道からの資源回収とともに広がる直投型ディスプレイの普及」。すでに定員に達し、参加登録は終了しています。
- 11月15日(火)に窒素除去に関する研究集会を昨年6/11に引き続き予定しています。テーマは「下水道による窒素除去と地球環境保全」というものです。詳しくは後日HPに掲載予定の案内をご覧ください。

### 編集幹事のあと整理

- 巻頭文は田野理事・事務局長の「曲がり角」。編集幹事は、事務局長としての決意表明、と読みました。
- 9月9日開催の下水道管路シンポジウム「不明水問題を考える」の報告文を山崎理事からいただき掲載しました。手短な報告ですので、詳細はHP掲載の講演概要と総合討議を参照してください。
- 6月24日の総会報告を田野事務局長よりいただきました。
- 新役員紹介コーナーでは、土屋理事の自己紹介文(写真付き)を掲載しました。
- 会員だよりの連載ものは内田会員のロサンゼルスシリーズ「インターステートハイウェイ」、日本で言えば国土幹線自動車道ということになるのでしょうか。齋藤会員(第12話)は、前話3.11の地震の解説に引き続き、津波の地形による被害の技術的解説です。

編集幹事・望月